

JHL NEWS

No. 2

2010年9月6日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同、大崎が白星発進、女子はオムロンがソニー破る

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第1週～

第35回日本ハンドボールリーグが熱戦の火ぶたを切った。9月4、5日の第1週は7試合が行われ、男子は6連覇を狙う大同特殊鋼、大崎電気らが白星スタート、女子では前回優勝のソニーセミコンダクタ九州がオムロンに接戦で敗れた。

神奈川での大崎-トヨタ車体戦は、車体がG K甲斐の好セーブもあって前半15分10-5と先行。大崎もベンチスタートの宮崎を投入して流れを戻し、G K浦和のロングパスからの速攻などで25分に同点とすると、終了間際に東長濱のステップシュートが決まり、16-15で前半を終えた。後半に入ると車体が流れをつかみ、門山、香川らの得点で17分26-22とし、その後もペースを握り22分29-26と優位を守った。しかし、ここから大崎が猛反撃。宮崎の鮮やかなシュートを皮切りにポスト森の2連打で26分30-30、さらに小澤、豊田でたたみかけて逆転に成功した。このあと懸命に挽回を図った車体に対し、大崎はG K浦和の好セーブに続き、2本の7mスローをG K吉田がシャットアウトして勝利を握った。

続く大同-湧永製菓戦は、渡久川のポストシュートで先制した大同が8分までに4連取。湧永もG K松村の好セーブから樋口、新のサイドシュート、谷村のロングシュートで1点差に迫ったが、その後単調な攻撃になり、大同がディフェンスからの速攻で確実に加点し、前半13-6と7点リードで終えた。後半に入っても大同ペースは変わらず11分21-9と大量リードを奪った。ここから湧永は山中のカットインなどで4連続得点。その後もG K松村の好セーブ、木村のポストシュートなどで23分19-24と迫ったが、大同はこの日8得点と気を吐いた山城のサイドシュートなどで勝利を不動のものとした。

女子のオムロン-ソニー戦は、オムロン・藤間、ソニー・中島の両G Kが好セーブを連発し、14分まで3-3とロースコアの展開。そこからオムロンは藤井のミドルシュートで抜け出したがソニーも譲らず、17分に長野のカットインで追いつくと直後に高橋が決め、そのまま前半を9-8とリードして終了した。後半に入り、ソニーが素早いフットワークでオムロンの攻撃リズムを崩し、そこからの速攻で加点してリードを広げた。しかし、オムロンは東濱のロングシュートで8分10-10と並ぶと、吉田(薫)のポストシュートで逆転、さらに高田の活躍で17分3点差をつけた。その後、7分間互いに得点が入らず時間が進み、ソニーは田中の連打で1点差とするものの、オムロンは稲葉がダメ押し点を決め、地元での開幕戦を白星で飾った。

福井での北國銀行-広島メイプルレッズ戦は、復帰した呉成玉を中心に攻撃を組み立てる広島が土屋のポストシュートで先制、その後も植垣の強打や7mスローなどで9分5-1と先行した。ここで北國がタイムアウトを請求して立て直しを図ったものの広島ペースは変わらず、そのまま広島が12-9とリードして前半終了。しかし、後半に入ると形勢一転。出だしから野路(良)の速攻などで3連取した北國が7分12-12に追いつくと、さらに横嶋、上町らがスピード豊かに得点を加え、20分20-15と一気に抜け出した。なんとか巻き返したい広島も植垣のミドルシュートなどで反撃するが、半分以上を速攻で得点した北國に走り負けした展開となった。(2ページに続く)



開幕戦を勝利で飾った④大崎電気・小澤⑤オムロン・石立

第2週の日程

9月11日(土)	北海道	函館市民体育館(函館市電市民会館前駅徒歩3分)	15:00~	(男)	大崎電気 × 北陸電力
		ウイングアリーナ刈谷(名古屋本線富士松駅徒歩15分)	13:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × ソニーセミコンダクタ九州
	愛知	ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	15:00~	(男)	トヨタ車体 × トヨタ紡織九州
		ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	オムロン × 広島メイプルレッズ
9月12日(日)	沖縄	浦添市民体育館(琉球バス「浅野浦」下車徒歩1分)	15:00~	(女)	H C 名古屋 × 北國銀行
		浦添市民体育館(琉球バス「浅野浦」下車徒歩1分)	13:30~	(男)	琉球コラソン × 湧永製菓
	愛知	ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × オムロン
		三好公園総合体育館アリーナ(名鉄豊田線赤池駅徒歩20分)	15:00~	(男)	H C 名古屋 × 広島メイプルレッズ
		三好公園総合体育館アリーナ(名鉄豊田線赤池駅徒歩20分)	13:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ九州 × 北國銀行
		三好公園総合体育館アリーナ(名鉄豊田線赤池駅徒歩20分)	15:00~	(男)	大同特殊鋼 × 豊田合成

北陸電力が2シーズンぶりの白星

9月4日、熊本ではトヨタ紡織九州と琉球コラソンが対戦。村山のゴールで先制したコラソンを西端、藤山、村上(秀)の3連打で紡織が逆転してからは、先行する紡織をコラソンが追う展開で試合が進んだ。紡織をとらえるチャンスが何度もあったコラソンだったが、攻撃がやや消極的になるとともに、大事なシュートを紡織のGK松野に阻まれて波に乗りきれないまま。前回プレーオフ進出の地力をベースに、要所を締めた紡織が、28-22と無難にコラソンを退け、開幕戦を飾った。5日、福井では北陸電力が豊田合成を迎えての戦い。前半13-11と2点リードで折り返した北電に対し、合成が後半開始直後に野田、今村らの活躍でとらえて逆転に成功してからは、激しく主導権が行き交う接戦。残り1分を切り、25-25の同点から、タイムアウトをとって意思統一を図った合成の攻撃を抑えた北電が、残り14秒、高田のサイドシュートで勝ち越し。その1点を守り切り、2シーズンぶりの白星(昨シーズンは1分13敗)を地元で飾った。

同5日、三重での三重バイオレットアイリス-HC名古屋戦は、三重・伊藤、名古屋・鈴木と、地元・暁高校出身の2人が大活躍。わずかに先行した三重を名古屋が僅差で追走する展開で試合は進んだ。後半8分、21-18と3点リードの場面から、15分過ぎまでに伊藤らの6連打で勝負を決めた三重が白星発進。31回リーグからの連敗脱出は成らなかったものの、名古屋も昨シーズン以上に戦える手応えをつかんだ開幕戦となった。

次の第2週は9月11、12日、愛知などで男子はトヨタ車体-トヨタ紡織九州をはじめ4試合、女子はソニーセミコンダクタ九州-北國銀行など6試合が組まれている。

◆ 9月4日(土) 男子
神奈川・横浜文化体育館

大崎電気	32 (16-15)	トヨタ車体	30
1勝0分0敗	(16-15)	0勝0分1敗	
K 浦 和	石 戸 2/2		
8/9 小 澤	佐々木 3/5		
0/1 0/0 前 田	藤 田 3/3		
1/1 7/11 豊 田	木切倉 0/0		
5/15 東長濱	北 出 2/3		
0/1 永 島	富 田 1/3		
0/1 横 地	光 増 2/4		
3/3 森	鶴 谷 2/5		
2/4 岩 永	坪 根 K <1/2>		
0/0 夏 山	香 川 6/9 0/1		
0/0 猪 妻	崎 前 0/1		
0/3 石 川	銘 苺 3/3 1/2		
<2/3> K 吉 田	甲 斐 K		
6/10 宮 崎	門 山 5/8		

1/2 31/57 12(FPP)4 29/46 1/3
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 1200人

◆ 9月4日(土) 男子
神奈川・横浜文化体育館

大同特殊鋼	27 (13-6)	湧永製薬	22
1勝0分0敗	(14-16)	0勝0分1敗	
<1/2> K 田 中	志 水 K <0/3>		
2/4 棚 原	谷 村 1/8		
0/0 野 村	木 村 5/7		
2/2 4/9 末 松	坂 本 2/4		
0/0 浦 田	濱 本 0/0 1/1		
0/2 地 引	山 中 1/4		
4/9 武 田	福 田 2/4		
1/3 岸 川	名 嘉 0/0		
K 高 木	樋 口 1/5		
1/1 7/12 山 城	新 3/7		
K 東	松 村 K		
0/0 下 村	古 家 2/5		
0/2 松 永	山 口 0/0		
6/8 渡久川	東長濱 4/13 0/1		

3/3 24/49 4(FPP)6 21/57 1/2
審判(永春・安田) 観客 1800人

◆ 9月4日(土) 男子
熊本・山鹿市総合体育館

トヨタ紡織九州	28 (11-8)	琉球コラソン	22
1勝0分0敗	(17-14)	0勝0分1敗	
<0/2> K 松 野	村 山 3/6 2/2		
0/1 中 島	水野矢 0/1		
2/3 西 端	栗 崎 0/2		
1/2 松 信	池 田 2/2		
7/13 村上秀	志慶真 3/3		
5/11 呉相民	内 田 K <1/1>		
0/1 佐久間	名 嘉 0/0		
0/1 村上勝	内 山 2/3		
2/6 海 道	高 田 6/12		
K 谷 川	石 田 K <2/3>		
0/0 藤 本	水野紀 4/8		
0/2 鈴 木			
1/3 5/7 藤 山			
5/8 石 黒			

1/4 27/54 5(FPP)11 20/37 2/2
審判(浦川・石崎) 観客 1717人

◆ 9月5日(日) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

北陸電力	26 (13-11)	豊田合成	25
1勝0分0敗	(13-14)	0勝0分1敗	
3/4 高 橋	榊 原 0/1		
4/10 神 田	原 0/0		
1/1 切 越	野 田 4/7 2/2		
1/1 1/4 桜 井	大 橋 0/1		
1/2 前 田	桶 谷 0/0		
2/4 高 田	中 島 4/5		
4/6 杉 山	森 光 4/7		
6/7 落 合	藤 田 0/0		
0/0 石 塚	今 村 K		
<0/1> K 廣 瀬	今 村 5/8		
3/6 山 原	中 村 6/7		
<0/1> K 有 江	芳 仲 0/4		
0/0 櫛 田	藤 堂 K <0/1>		
	米 本 0/0		

1/1 25/44 12(FPP)7 23/40 2/2
審判(多田・中館) 観客 511人

◆ 9月4日(土) 女子
熊本・山鹿市総合体育館

オムロン	17 (8-9)	ソニーセミコンダクタ九州	15
1勝0分0敗	(9-6)	0勝0分1敗	
<2/4> K 藤 間	中 島 K <2/2>		
3/3 城 内	郭 惠 0/0		
2/4 高 田	長 野 3/8		
2/3 卷	高 橋 2/2 1/2		
2/3 稲 葉	田 中 2/7		
0/0 吉田祥	山 田 0/0		
0/2 1/12 藤 井	工 藤 1/3 0/1		
1/5 石 立	儀 間 0/0 1/1		
1/2 吉田薫	高 栖 3/6		
0/0 久 野	川 崎 0/0		
0/0 永 田	黒 木 0/1		
K 山 中	飛 田 K		
0/0 前 田	石 井 0/0		
5/10 東 濱	張素姫 2/11		

0/2 17/42 11(FPP)9 13/38 2/4
審判(池潤・檜崎) 観客 2463人

◆ 9月5日(日) 女子
福井・北陸電力福井体育館フレア

北國銀行	26 (9-12)	広島メイプルレッズ	21
1勝0分0敗	(17-9)	0勝0分1敗	
<0/2> K 寺 田	堂 面 K <1/2>		
0/0 鰻 場	土 屋 4/6		
1/2 5/12 上 町	村 山 0/0		
2/6 佐久川	河 田 0/0		
0/0 川 井	大 前 2/5		
3/3 中 村	植 垣 6/11 3/3		
3/7 横 嶋	菅 野 1/3		
3/4 野路良	早 川 1/1		
0/1 翁 長	呉成玉 1/6		
<0/1> 0/1 田 代	五 月 女 0/0		
0/0 井 上	横 田 K		
0/0 八 十 島	安 齋 0/0		
6/7 若 松	高 山 0/0		
3/7 屋 嘉	新 城 3/3		

1/2 25/48 4(FPP)3 18/35 3/3
審判(大石・桜打) 観客 450人

◆ 9月5日(日) 女子
三重・鈴鹿市立体育館

三重バイオレットアイリス	33 (15-13)	HC名古屋	25
1勝0分0敗	(18-12)	0勝0分1敗	
<0/1> K 浅 井	近 藤 K <1/2>		
3/3 横 川	池 田 3/5		
2/3 2/4 戎 野	伊 藤 0/1		
0/0 石 黒	佐 藤 0/0		
3/9 宮 下	高 橋 3/6		
2/3 谷 口	鈴 木 4/10 2/2		
3/3 石 坂	菅 谷 5/7		
1/1 飯 田	阪 本 2/2		
<0/1> 1/1 毛 利	外 本 1/6		
3/5 星 野	上 野 0/0		
0/0 小 川	高 橋 玲 3/5		
1/1 12/15 伊 藤	家 城 K <0/2>		
0/0 村 尾	秋 山 2/3		
	天 野 0/0		

3/4 30/44 6(FPP)6 23/45 2/2
審判(佐々木・高原) 観客 910人

男女個人ランキング 第1週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 小澤 広太 (大崎電気)	8点	(1試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	13点	(1試合)
1 豊田 賢治 (大崎電気)	8点	(1試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	9点	(1試合)
1 山城 貴志 (大同特殊鋼)	8点	(1試合)	3 若松 里佳 (北國銀行)	6点	(1試合)
4 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	7点	(1試合)	3 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	6点	(1試合)
5 落合 信也 (北陸電力)	6点	(1試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	6点	(1試合)
5 中村 晃己 (豊田合成)	6点	(1試合)	6 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	5点	(1試合)
5 渡久川 兼太 (大同特殊鋼)	6点	(1試合)	6 東濱 裕子 (オムロン)	5点	(1試合)
5 野田 祐希 (豊田合成)	6点	(1試合)	8 土屋 友美 (メイプルレッズ)	4点	(1試合)
5 香川 将之 (トヨタ車体)	6点	(1試合)	8 戎野 満梨奈 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	6点	(1試合)			
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	6点	(1試合)			
5 末松 誠 (大同特殊鋼)	6点	(1試合)			
5 高田 匠 (琉球コラソン)	6点	(1試合)			

フィールド得点

1 小澤 広太 (大崎電気)	8点	(1試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	12点	(1試合)
2 豊田 賢治 (大崎電気)	7点	(1試合)	2 若松 里佳 (北國銀行)	6点	(1試合)
2 山城 貴志 (大同特殊鋼)	7点	(1試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	7点	(1試合)	4 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	5点	(1試合)
5 落合 信也 (北陸電力)	6点	(1試合)	4 東濱 裕子 (オムロン)	5点	(1試合)
5 中村 晃己 (豊田合成)	6点	(1試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	5点	(1試合)
5 渡久川 兼太 (大同特殊鋼)	6点	(1試合)	7 土屋 友美 (メイプルレッズ)	4点	(1試合)
5 香川 将之 (トヨタ車体)	6点	(1試合)	7 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	4点	(1試合)
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	6点	(1試合)			
5 高田 匠 (琉球コラソン)	6点	(1試合)			

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 小澤 広太 (大崎電気)	8点/ 9射 0.889	1 中村 香理 (北國銀行)	3点/ 3射 1.000
2 落合 信也 (北陸電力)	6点/ 7射 0.857	1 城内 真紀 (オムロン)	3点/ 3射 1.000
2 中村 晃己 (豊田合成)	6点/ 7射 0.857	1 横川 恵子 (バイオレットアイリス)	3点/ 3射 1.000
4 渡久川 兼太 (大同特殊鋼)	6点/ 8射 0.750	1 石坂 美奈子 (バイオレットアイリス)	3点/ 3射 1.000
5 香川 将之 (トヨタ車体)	6点/ 9射 0.667	1 新城 明奈 (メイプルレッズ)	3点/ 3射 1.000
6 豊田 賢治 (大崎電気)	7点/ 11射 0.636	6 若松 里佳 (北國銀行)	6点/ 7射 0.857
7 宮崎 大輔 (大崎電気)	6点/ 10射 0.600	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	12点/ 15射 0.800
8 山城 貴志 (大同特殊鋼)	7点/ 12射 0.583	8 野路 良子 (北國銀行)	3点/ 4射 0.750
9 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	7点/ 13射 0.538	9 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	5点/ 7射 0.714
10 高田 匠 (琉球コラソン)	6点/ 12射 0.500	10 土屋 友美 (メイプルレッズ)	4点/ 6射 0.667

7mスロー得点

1 野田 祐希 (豊田合成)	2点	(1試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	3点	(1試合)
1 末松 誠 (大同特殊鋼)	2点	(1試合)	2 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	2点	(1試合)
1 村山 裕次 (琉球コラソン)	2点	(1試合)	2 戎野 満梨奈 (バイオレットアイリス)	2点	(1試合)
4 桜井 渉 (北陸電力)	1点	(1試合)	4 儀間 晴香 (ソニー)	1点	(1試合)
4 濱本 忠志 (湧永製薬)	1点	(1試合)	4 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	1点	(1試合)
4 豊田 賢治 (大崎電気)	1点	(1試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	1点	(1試合)
4 山城 貴志 (大同特殊鋼)	1点	(1試合)	4 高橋 恵 (ソニー)	1点	(1試合)
4 銘 苺 淳 (トヨタ車体)	1点	(1試合)			
4 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	1点	(1試合)			

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン)	1本/ 1射 1.000	1 中島 亜樹 (ソニー)	2本/ 2射 1.000
2 石田 孝一 (琉球コラソン)	2本/ 3射 0.667	2 藤間 かおり (オムロン)	2本/ 4射 0.500
2 吉田 耕平 (大崎電気)	2本/ 3射 0.667	2 近藤 澄江 (H C 名古屋)	1本/ 2射 0.500
4 田中 雄大 (大同特殊鋼)	1本/ 2射 0.500	2 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	1本/ 2射 0.500
4 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	1本/ 2射 0.500		

第 35 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表 第 1 週 終 了 9 月 5 日

順位	男子	トヨタ紡織九州	大同特殊鋼	大崎電気	北陸電力	豊田合成	トヨタ車体	湧永製薬	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ紡織九州								28 ○ 22	1	1	0	0	2	28	22	6
2	大同特殊鋼							27 ○ 22		1	1	0	0	2	27	22	5
3	大崎電気						32 ○ 30			1	1	0	0	2	32	30	2
4	北陸電力					26 ○ 25				1	1	0	0	2	26	25	1
5	豊田合成				25 ● 26					1	0	0	1	0	25	26	-1
6	トヨタ車体			30 ● 32						1	0	0	1	0	30	32	-2
7	湧永製薬		22 ● 27							1	0	0	1	0	22	27	-5
8	琉球コラソン	22 ● 28								1	0	0	1	0	22	28	-6

順位	女子	三重バイオレットアイリス	北国銀行	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	三重バイオレットアイリス						33 ○ 25	1	1	0	0	2	33	25	8
2	北国銀行					26 ○ 21		1	1	0	0	2	26	21	5
3	オムロン				17 ○ 15			1	1	0	0	2	17	15	2
4	ソニーセミコンダクタ九州			15 ● 17				1	0	0	1	0	15	17	-2
5	広島メイプルレッズ		21 ● 26					1	0	0	1	0	21	26	-5
6	H C 名 古 屋	25 ● 33						1	0	0	1	0	25	33	-8

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。